

第 47 回電子情報化委員会 議事録 (案)

日時：2011 年 6 月 27 日 (月) 15:00～18:00

場所：JCI 会議室 12F

出席者：中村委員長、三木幹事、甲斐、舌間、八十島、吉岡の各委員
(事務局) 井上、戸口

資料

47-0：電子情報化委員会 (第 47 回) 議事次第

47-1：第 46 回電子情報化委員会議事録 (案)

47-2-1：第 1 回 J-Stage との打合せ報告

47-2-2：J-Stage 打合せ資料

47-3-1：コンクリート工学年次論文集アクションプラン

47-3-2：アクションプラン 2011 の具体案 (会員専用ページ・各種電子システム)

47-3-3：日本語 HP 一般向けコンテンツの改良 (案)

47-3-4：専門家用 HP の設置 (案)

47-3-5：アクションプラン案 (研究委員会 HP&英語版 HP)

47-3-6：アクションプラン 2011：委員会報告書

47-3-7：メールニュース・アクションプラン ver.3

47-4：第 1 回 JCI HP WG 議事録案

議事

1. 前回委員会議事録 (案) の確認 (三木幹事、資料 47-1)

- ・ 第 46 回議事録 (案) の内容を確認し、原案を承認した。

2. メールニュース登録者について (事務局)

- ・ 現状の登録者数 4400 名 (2011 年 6 月現在)。前回委員会 (4 月) より約 250 名増。
- ・ 6 月末から技士講習会が始まるため、これまで同様に登録案内を配布し、引き続き登録者の増加を図ることとなった。

3. 第 1 回 J-Stage 打合せ報告 (事務局戸口氏、資料 47-2-1、47-2-2)

戸口氏から J-Stage との打合せ内容について報告された。主な報告事項は以下の通り。

- ・ ヒアリングシート (ヘッダーデザインの選定、各種情報の入力など) に関する説明を受けた。また、データ作成については、文字フォントの標記について、PDF ファイルのセキュリティ設定の説明があったことが報告された。
- ・ ヘッダーデザインについては、会誌は B 案 (水色系)、論文集は A 案 (冊子版と同様仕様) を本委員会の原案とすることが決まった。
- ・ 情報アップロードを委託する企業について、審議の結果、昭和情報へ依頼することを本委員会の原案とすることになった。
- ・ 表紙について、ページ番号を付すことにより HP に掲載可能である。
- ・ 執筆要領について、文字種類 (機種依存文字の使用禁止等)、画像解像度、ファイル容量などについて、追記する必要があることが確認された。

- ・ Journal@rchive に会誌、論文集の掲載を申請したことが報告された。いずれも JCI には 1 部のみしか収録されていないため、古い冊子を集める必要があることが事務局より報告された。
4. アクションプラン 2011 について
- 4.1 年次論文集（田所委員、資料 47-3-1）
- ・ 短期の方針として、当面は現行の検索システムを用いる。掲載情報のアップロードに八十島委員の作成したソフトを用いることで、作業効率は良好である。
 - ・ 長期的には、CiNii による論文検索システムを活用する。利点として、掲載費用が無料、過去論文も掲載可能という点がある。受付は冊子のみで、それらを裁断して用いるため、古い論文冊子を収集する必要がある。一方、新しい論文は CD 版のみであるため、冊子による情報引き渡しの現状申込においては、例えば PDF を簡易印刷することで対応する。ただし、PDF ファイルによる情報引き渡しの可否は、今後国立情報学研究所（NII）の方針変換もあることが想定される。
 - ・ CiNii と現状システムをリンクすることも有用である。
- 4.2 会員専用ページ、各種電子システム（八十島委員、資料 47-3-2）
- ・ 短期として、会員専用ページのマニュアル、運用についての検討、年次論文データ登録システムの運用、J-stage 統計データの活用などが検討事項である。
 - ・ 中期的には、論文集の査読システムの電子化、委員会報告書、シンポジウム論文などのデジタル化、各種講演会、講習会の参加申込のシステム構築などがある。このうち、参加申込システムについては、事務局にて検討することとなった。
 - ・ 委員会の日程調整のためのウェブシステム構築を検討する。まずは、八十島委員によってシステムを構築した後、本委員会で試験運用することとなった。
 - ・ 長期的な項目として、ビデオ会議、各種講演会のオンライン配信などがあげられる。土木学会や建築学会における東日本大震災報告会で用いられていた。JCI においては、試験的に本委員会で配信できる講習会を選定、企画し、講習会の様子を試験的に配信することとなった。
- 4.3 日本語 HP 一般向け（舌間委員、資料 47-3-3）
- ・ 本内容は、主に HP WG にて対応することが確認された。
 - ・ 「What is コンクリート？」における①コンクリートの役割、②コンクリート Q&A、③コンクリートの基礎知識に関する短期、長期の改善案が示された。
 - ・ 新たなコンテンツについて、実際に運用できる内容とすること、また簡単に対応できるものから、新たに委員会を立ち上げ、その単位で対応する必要のあるものまで、様々なレベルの内容を提案することとなった。
- 4.4 日本語 HP 専門家向け（吉岡委員、資料 47-3-4）
- ・ 短期、中期、長期の作業項目案が示された。
 - ・ JCI 会員の多くを占める生コン工場技術者のニーズを探るために、インタビュー、アンケートを実施することが承認された。アンケート内容については、過去に実施したものがあるため、その内容を確認して活用することを確認した。
- 4.5 研究委員会 HP、英語版 HP（浅本委員、資料 47-3-5）
- ・ 短期、長期の改善案として、研究委員会への更新依頼の継続、英語版 HP の更新が示された。更新状況を改善させるためには、新たなモチベーションを向上させる方策が必要である。現

状でも議事録掲載は各委員会の義務であることが確認された。英語版 HP については、現状あるコンテンツを大いに活用することがよい。

- ・ 長期的には、リモート会議システムの導入、会議の様子を動画記録し配信することなどの案が示された。
- ・ 英語版 HP の長期的な対応として、検索システムの英語版作成がある。

4.6 委員会報告書（田嶋委員、資料 47-3-6）

- ・ 委員会報告書の電子公開について、短期、中期、長期の検討項目が示された。
- ・ 電子公開について、本委員会から研究委員会に提案することが確認された。
- ・ 9/28 に実施予定である研究委員会に中村委員長が出席するため、その際に本件を提案する。
- ・ 提案書には、研究委員会で検討してもらいたい具体的な作業内容を示しておく必要がある。田嶋委員作成の原案をより簡潔な内容にする。
- ・ 会員専用ページにおける公開を原案とする。公開は会員限定で 3 年とする。一般向けには、従来通り冊子販売、絶版の報告書はコピーサービスで対応する。
- ・ 検討が必要な項目として、既発表分の著作権が挙げられる。講習会においてのみ公開されることが従来であるため、今後は電子公開を考慮した内容にする必要がある。

4.7 メールニュース（高橋委員、資料 47-3-7）

- ・ 短期的は、論文集、ACT の題目、著者をメール配信することが必須事項である。配信のためのルール（メールフォーマット、メール作成者、配信時期などの作業ルーチン）を高橋委員が作成することとなった。
- ・ 長期的な目標として、新たなコンテンツの拡充がある。ニュースレターのような形式を想定している。

5. 第 1 回 HP WG の報告（三木幹事、資料 47-4）

- ・ WG の役割は、コンテンツ拡充、また更新を継続していくための仕組みを提案することである。作業、対応の難易度に応じた、さまざまなレベルの提案を示す必要がある。その際により大きな委員会が必要な場合は、その必要性を含め提案していくことが確認された。

6. 次回日程

- ・ 次回は、2011 年 9 月 13 日（火）15：00 から、JCI 会議室にて実施する。
後日日程変更があり、9 月 20 日（火）13：00～に変更。

以上